

☆ キラリと光る☆ 病院マネジメントのヒント

2019年4月1日号

=vol.21=

～ごあいさつ～

こんにちは。ホワイトボックス コンサルティング部の阿部勇司です。今日4月1日は、新元号が発表される日ですね。私は移動中になりそうですが、平成の元号発表を聞いた高校生の頃のシーンを今でも鮮明に覚えています。どんな名称になるのか、携帯のニュースをみながら今回もそのシーンを記憶に留めておきたいと思います。

さて、今回の《☆キラリと光る☆ 病院マネジメントのヒント》は、次の内容でお届けします。

【目次 (Contents)】

- ◆今号の注目 Topic : 「新入職員のキャリアアップを考える」
- ◆WB's Opinion : 「3つの教育」
- ◆お知らせ
- ◆編集後記

*本メールは、ホワイトボックス（株）コンサルティング部スタッフと名刺交換をさせて頂いた皆さま及び弊社がサイト運営している、ドクターレジャーボックスのWebサイトに無料会員登録された皆さまへお送りしています。配信停止を希望される方は、お手数ですが本メール文末にある購読解除手続きへお進みください。

【今号の注目 Topic】

▽新入職員のキャリアアップを考える

日本列島各地の桜は例年よりも早く開花したところが多いようですネ。4月1日の今日は福島や仙台辺りの開花予想も出され、桜前線が日本列島を包み込もうとしています。そんな桜前線に囲まれて、多くの人が新しいスタートを切る4月。医療機関や施設でも、新入職のスタッフを迎えるところが多いことと思います。

今号の Topic は、「新入職員のキャリアアップをはじめとした教育についての考え」を取り上げました。こうした時期に改めて、職員のキャリアアップや教育について考えてみるのも、良い時季なのではないでしょうか。

<https://goo.gl/LCrUPR>

【WB's Opinion 「3つの教育」】

教育には3つの種類があります。1つめは職場で日々必要な業務や作業を教える「職場内教育」。2つめは職場内だけでは充足できない教育を行うための「集合教育」。3つめはさらに分からないことを自ら学習する「自己啓発」です。

職場内教育は、とにかく今の業務を身につけ、普段の仕事に支障を生まないようにするための教育。職場内教育が上手くできなければ、個人差はあるものの、仕事に慣れるまでに時間を要することになります。病院ではプリセプター（教訓者、教師）が、そして診療所では先輩が職場内での教育を担うことになります。

集合教育は、職場に教育対象となる事項を教える者がいないときや、新しいことをはじめるとき、外部講師を招聘して知識を学ぶことに重きがおかれます。集合教育で習得した知識を活かすことができない集合教育に、意味はありません。逆に言えば、職場で活かせる知識を習得できる集合教育に、職員を送り込むことが必要です。

自己啓発は職場内で仕事を学び、外部で知識を得たのち、組織がさらに理解や知識を得てほしいときや個人がこれらを求めたときに、個人が自らの努力で追加的に学習を行うことといいます。したがって、自己啓発は組織のニーズに応じて行う側面を有するのであって、勝手に個人が学習すること全てを自己啓発というわけではありません。自己啓発は本来、目的を持ち組織の支援を得て、自らが研鑽することを指しています。

病院や診療所では、職員一人ひとりのカルテを作成し、何ができないのかを記載しておけば、焦点を絞った教育ができるので、職場内教育を実りあるものとすることができます。なお、ノウハウが記載され、常に改訂されるマニュアルやチェックシートを利用して職場内教育を行うことも有効です。

また、受講した集合教育の履歴を職員カルテに記載し、記録します。自己啓発であれば、何をいつまでに習得するために、どのような媒体を使って自己啓発に努めたのか書き込むことになります。カルテを見れば、被教育者の教育のプロセスや結果が常に管理できるようにすることが重要です。

教育のない職場は力を発揮できません。状況に適した教育を施すことで、個人の力量が向上し、組織に活力がもたらされます。

【お知らせ】

▽書籍のご紹介「サクセスキューブ このフレームワークであなたも必ず成功できる」

<http://www.whitebox.co.jp/success-cube/>

= 成功を「誰にでも再現できるものに」 =

弊社代表 石井友二の最新刊が幻冬舎から発刊されました。本書では、成功の要件に欠かせない 6 つの要件、「思い」×「信念」×「技術」×「人間力」×「コミュニケーション」×「達成感」を、私たちの身近にあるサイコロ（キューブ）の 6 つの面を使って表現することで、誰にでも理解しやすいフレームワーク「サクセスキューブ」として示しています。

一流のビジネスパーソンが無意識に実践している思考法を、“キューブ”を使って理論化した最新刊は、以下の URL から電子書籍でもお求めできます。

<https://www.gentosha.co.jp/book/b11933.html>

【編集後記】

人口減について、その影響を軽くみている人が多いと言われていますが、本当のところはどうなのでしょう。クライアント先では外国人材の受け入れについて、検討段階から実行へと移したところもではじめていますが、高齢化が進む将来、就業者の 5 人に 1 人が医療・福祉の分野で働かなければ、医療介護サービスの供給が間に合わないと言われていました。

しかし医療機関や介護施設の多くが、実際のところ働く人たちのパーソナリティに甘んじ、働きやすい職場環境の創造などは後回しにしてきたところが多いのではないのでしょうか。これからは働く側にも選ばれる病院や介護施設であることが求められるのは必須。仕事を通じて自己実現や社会貢献ができ、かつ生活の心配もしなくて良い。運営側には、人事面における難しい舵取りが求められています。

▽ご意見・お問い合わせ

本メールマガジンは自動配信システムを利用して送信しております。そのため送信元のメールアドレスに返信しても届かない場合がございますので、ご意見・お問い合わせ等につきましては、お手数ですが以下のメールアドレスまでご連絡ください。

✉ support@whitebox.co.jp

▽登録解除フォーム

メールマガジン購読解除を希望される方は、下記のフォームから手続きをお願いします

<https://goo.gl/QWL7dE>

▽ホワイトボックス(株)メールマガジン「☆キラリと光る☆ 病院マネジメントのヒント」

は毎月 15 日と月末に発行予定です（該当日が週末の場合は、週明けに発行します）。

発行：ホワイトボックス株式会社 コンサルティング部

HP <http://www.whitebox.co.jp>

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-20-11 銀座 120 ビル 7 階

☎：03-6278-8741

*掲載記事の無断掲載を禁じます

Copyright ©ホワイトボックス株式会社 All Rights Reserved.